



2023年11月10日

各位

上場会社名 東邦亜鉛株式会社  
代表者 代表取締役社長 伊藤 正人  
(コード番号 5707)  
問合せ先責任者 経理部長 田邊 正樹  
(TEL 03-6212-1716)

## 2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正及び配当予想の修正（無配）並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期第2四半期（2023年4月1日～2023年9月30日）の業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、本日別途公表いたしました豪州鉱山の閉山や中国関係会社の売却、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表した2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。これに伴い、以下のとおり1株当たり配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

さらに、このような業績動向を踏まえ、役員報酬の減額を決議しましたので、併せてお知らせします。

### 記

#### 1. 2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績の差異（2023年4月1日～2023年9月30日）

##### ① 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	69,000	100	△1,300	△1,700	△125.20
今回実績(B)	61,932	△139	△2,230	△25,717	△1,894.15
増減額(B-A)	△7,068	△239	△930	△24,017	
増減率(%)	△10.2	—	—	—	
(参考) 前第2四半期実績 (2023年3月期第2四半 期)	73,709	4,544	4,061	3,124	230.12

② 差異の理由

2024年3月期第2四半期（累計）の業績につきましては、売上高は、製錬事業においては、亜鉛価格の下振れに加えて、亜鉛・鉛・銀とも減販となり減収となりました。また、資源事業も豪州ラスプ鉱山での粗鉱品位低下から減収となりました。

利益については、環境・リサイクル事業が亜鉛価格の下振れもあり、4億円の減益となりましたが、他の事業は概ね前回公表並みとなり、営業利益は約2億円の減益となりました。しかしながら、資源事業で、新たに2023年1月に操業を開始した豪州アブラ鉱山（当社出資比率40%）が操業初期段階で操業立上げが計画より遅れたことなどから、持分法による投資損益が11億円弱下振れたこともあり、経常利益は9億円強の減益となりました。また、本日別途「豪州鉱山の閉山に関するお知らせ」「営業外費用（持分法による投資損失）及び特別損失（減損損失、関係会社出資金評価損及び関係会社貸倒引当金繰入額）の計上に関するお知らせ」で開示いたしました通り、豪州ラスプ鉱山で196億円の減損損失を計上したことや中国関係会社の売却による関連損失約40億円の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅に前回公表値を下回る結果となりました。

2. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

① 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	140,000	2,500	1,000	500	36.82
今回修正予想(B)	131,800	△430	△3,630	△30,000	△2,209.54
増減額(B-A)	△8,200	△2,930	△4,630	△30,500	
増減率(%)	△5.9	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	145,764	4,049	3,137	794	58.52

## ② 修正の理由

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 (当期) 純利益
上期	前回公表	69,000	100	△1,300	△1,700
	今回公表	61,932	△139	△2,230	△25,717
	増減額	△7,068	△239	△930	△24,017
下期	前回公表	71,000	2,400	2,300	2,200
	今回公表	69,867	△291	△1,400	△4,283
	増減額	△1,133	△2,691	△3,700	△6,483
通期	前回公表	140,000	2,500	1,000	500
	今回公表	131,800	△430	△3,630	△30,000
	増減額	△8,200	△2,930	△4,630	△30,500

(上期影響)

上記「1. 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績の差異」を参照ください。

(下期影響)

資源事業において、ラスプ鉱山が品位低下による下振で18億円、決算期ずれの調整で12億円の計30億円の減益が見込まれ、営業利益は約27億円の減益となる見込みです。また、アブラ鉱山の持分法による投資損益が6億円弱下振れることもあり、経常利益は約37億円の減益となる見込みです。加えてラスプ鉱山の追加の減損損失等の計上を見込んでおり、親会社株主に帰属する四半期純利益は約65億円の減益となる見込みです。

(通期影響)

環境・リサイクル事業は、亜鉛価格の下落や減産などもあり、6億円の減益を見込みます。また、ラスプ鉱山が品位低下などから25億円の減益を見込むことなどもあり、営業利益は29億円の減益を見込みます。さらにアブラ鉱山の持分法による投資損益が17億円弱下振れる影響で、経常利益は46億円の減益を見込みます。加えて、ラスプ鉱山の減損209億円や中国関係会社の売却損等50億円を計上することから、親会社株主に帰属する当期純利益は305億円の減益となる見込みです。

(金属価格・為替の予想前提)

	前回公表			今回修正		
	第2四半期 累計 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)	第2四半期 累計 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)
亜鉛 LME(US\$/t)	3,000	3,000	3,000	2,484	2,400	2,442
鉛 LME(US\$/t)	2,100	2,100	2,100	2,144	2,100	2,122
銀 LDN(US\$/oz)	25.0	25.0	25.0	23.9	21.0	22.4
為替(¥/US\$)	133.0	133.0	133.0	141.0	140.0	140.5
為替(US\$/A\$)*1	0.670	0.670	0.670	0.677	0.650	0.664

\*1：豪州子会社は12月決算であり、第2四半期累計は1月～6月、下期は7月～12月となります。

### 3. 配当予想の修正

#### ① 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2023年5月12日発表)		50.00	50.00
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2023年3月期)	0.00	75.00	75.00

#### ② 修正の理由

ラスプ鉱山の閉山に伴う減損損失の計上及び中国関係会社の売却等に伴う損失の計上もあり、通期で多額の赤字の計上となる見込みです。これにより、利益剰余金が欠損となり、自己資本比率も20%を切る水準まで悪化する見込みであります。今後は経営の安定確保のため自己資本の一定の確保が重要となります。

市況に影響を受ける損益構造ゆえ、従来から業績に関わらず安定配当を株主還元方針として参りましたが、上述のような状況を鑑み、2023年度決算においては、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。株主の皆様には申し訳ございませんが、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

2024年度以降は、早期の業績回復に努めるとともに、財務状況の健全化をはかり、従来の安定配当方針への回帰を目指して参ります。

#### 4. 役員報酬の減額について

当社は、今回の業績動向等を真摯に受け止め、取締役会において、役員報酬の減額を以下の通り決議いたしました。

##### ① 役員報酬減額の内容

代表取締役	月額報酬の 50%を減額
取締役（社外及び監査等委員である取締役を除く）	月額報酬の 40%を減額
執行役員	月額報酬の 30%を減額

※但し、株式報酬分を除く

##### ② 期間

2023年11月より当分の間

##### ③ 役員報酬減額の理由

今般、豪州ラスプ鉱山の減損や、中国関係会社の売却損等の計上から親会社株主に帰属する当期純利益が多額の損失となったこと及び年間配当の見送りを真摯に受け止め、経営責任を明確にするために、役員報酬の減額を決議いたしました。

##### ④ その他

相談役及び顧問については、報酬を 50%及び 30%減額するとともに繰り上げて退任いたします。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上